

2011年度 当初予算 (案)

●西浦高校閉校後の施設・敷地で新校整備基本計画

●教員242人増、スクールバス7台増車、特別教室のエアコン設置、分校3校の養護教諭複数配置など

2月10日、府教委は府障教に対して2011年度予算案について説明をおこないました。その内容について、障害児教育関係を中心にお知らせします。

2011年度 当初予算(案)

* () 内はいずれも2010年予算

1. 予算規模

●教育予算総額

5724億5638万4千円

(5730億1972万1千円)

●特別支援学校費

421億3461万1千円

(381億9981万5千円)

2. 教職員定数

(1) 特別支援学校教職員定数

●4883人(242人増) *市立含む

①校長…47人(1人増)

*鳥飼校に「准校長」を配置

②教員…4314人(242人増)

*府立支援学校164人増

*市立支援学校 78人増

③養護教諭…82人(3人増)

*鳥飼、四條畷、八尾東に複数配置

④実習助手…75人

⑤寄宿舎指導員…54人

⑥事務職員…154人

⑦栄養教諭および栄養職員…37人

⑧技能員等…120人(4人減 退職)

⑨非常勤講師時間数…4767時間(463時間増)

(2) 府立支援学校教員「加配」

「加配」は、府教委独自の呼称です。本来の意味での加配ではありません。以下に示す「加配」について、養護教諭の3名増以外は、すべて国標準法定数を利用し、「加配」と称して府教委基準で配置しなおしたものです。各校において、校長が「加配」として説明をおこないますが、大阪府予算による加配ではありませんので注意が必要です。

①地域支援・交流「加配」

26校33人(増減なし)

②自立活動・個別の指導の充実「加配」

26校37人(増減なし)

③進路指導配置「加配」

22校29人(3人増)

④生徒指導配置「加配」

10校10人(3人減)

⑤分校「加配」

5校5人(増減なし)

⑥教頭の複数配置

20校20人(1人減 *堺聴覚支援)

⑦養護教諭の複数配置…

28校28人(3人増)

*養護教諭の3人増は、大阪府の単独予算措置として鳥飼校、四條畷校、八尾東校の複数配置に活用されます。

*教頭複数配置の1人減は、吹田支援学校鳥飼校の准校長配置に利用されます。

3. 施設・整備の整備費

(1) 府立知的障がい支援学校新校整備費

5億2588万9千円(6023万1千円)

①豊能・三島地域

旧鳥飼高校の施設・校地を利用した新校整備の実施設計、建設工事など(2011年度中着工)

②北河内地域

旧村野中学校敷地を利用した新校整備の基本設計、旧校舎撤去工事など

③泉北・泉南地域

砂川高校(2011.3閉校予定)閉校後の施設・校地を利用した新校整備の基本設計・実施設計など

④中河内・南河内地域

西浦高校(2011.3閉校予定)閉校後の施設・校地を利用した新校整備の基本計画策定など

*豊能・三島、北河内、泉北・泉南地域の新校は、「たまがわタイプ高等支援学校」を併設。

(2) 府立視覚支援学校整備事業

7179万2千円(1億0582万1千円)

(3) 支援学校福祉整備費

8287万4千円(4927万2千円)

①藤井寺支援(工事) 7740万2千円

②交野支援(実施設計) 547万2千円

(4) 支援学校耐震・大規模改修事業費

4億1244万7千円

(1億4578万6千円)

①工事

堺聴覚支援(小学部棟・渡りろうか、茨木支援(高等部棟)、高槻支援(中学部棟)

②実施設計

茨木支援(中学部棟・厨房棟他)、東大阪支援(特別教室棟)、高槻支援(管理棟)、八尾支援(屋内体育館棟)、佐野支援(作業棟・渡りろうか)、豊中支援(管理棟・渡りろうか・厨房)、寝屋川支援(小学部棟)

③基本設計

茨木支援(バス乗降口)、高槻支援(小学部高学年棟、佐野支援(小学部低学年棟他)、豊中支援(渡りろうか)、寝屋川支援(管理棟・厨房)

(5) 府立学校教育環境整備事業
8000万0千円(新規*支援学校分)
*1校あたり3教室をめぐりに特別教室に空調設備を設置する。今年度は5校15教室。
(5カ年計画)

(6) 府立学校施設・設備改修費(緊急対策)
3000万0千円(新規)
*校舎の老朽化による緊急対策。支援学校のプール施設改修、フェンス改修、体育館床面改修など

(7) 整肢学院施設整備費(他課計上分)
1720万0千円(新規)

*中津支援学校中庭運動場改修工事費

4. 学校管理費・旅費等

(1) 一般管理費(警備員委託料3800万円含む)
6億6752万8千円

(6億7850万6千円)

(2) 府立支援学校通学バス運行費
16億0480万0千円

(15億7019万5千円)

(1) 運行台数:177台(7台増車)

民間委託168台、直営9台

②増車の内訳

・豊中支援(中型1台)、堺支援(中型スロップ1台)、佐野支援(中型1台、高槻支援(中型1台)、富田林支援(中型1台)、交野支援四條畷校(中型2台)

③その他

・茨木支援のリース契約による大型スロップバス1台は、そのまま1学期間使用。
新しい大型スロップバスが完成次第入れ替え。

(3) 教職員旅費1億4840万5千円

(1億5024万3千円)

*1人換算3万0千390円

(3万2千370円)

5. 特別支援教育指導の充実

(1) 府立支援学校教育活動用具整備事業費
324万9千円(324万9千円)

*大型の教材・教具の必要性の高いものからの順次整備

(2) 府立支援学校健康安全対策事業費
473万7千円(482万5千円)

*泊を伴う行事への看護師の付添

(3) 医療的ケア実施体制整備事業費
131万8千円(131万8千円)

*医療的ケア研修の充実、実習用人の購入など

(4) 府立支援学校福祉・医療関係人材活用事業費
522万3千円(522万3千円)

(5) 学校支援人材バンク活用推進事業
281万1千円(281万1千円)

(6) 府立支援学校職業教育費
465万0千円(453万2千円)

*介護ヘルパー2級取得実習の謝礼、理学療法科などにおける実習謝礼など

(7) 支援教育地域支援整備事業
5319万5千円(5319万5千円)

*支援学校非常勤講師配置費のことであるが、2010年度より小・中学校の非常勤講師配置をなくして、府立支援学校による地域支援の役割へ「特化」したものを。

25校に週あたり8時間×2名配置。

(8) 府立支援学校教材費など(学校管理費)
2839万0千円(2839万0千円)

(9) 府立支援学校教育用コンピューター整備費
2664万3千円(2664万3千円)

(10) 特別支援教育総合推進事業
1925万2千円(3405万4千円)

*巡回指導など市町村における支援教育体制整備の推進、高等学校における発達障害のある生徒に対する支援体制強化、支援学校における職業教育支援など

(11) 支援学校ジョブチャレンジ整備事業
617万3千円(新規)

*就労支援のための教育課程に必要な環境整備

・佐野支援砂川校、泉北高等支援、堺支援、佐野支援

6. 府立支援学校給食予算

(1) 調理業務委託費
1億4895万8千円

(1億3239万2千円)

*箕面・八尾・和泉・吹田・富田林・茨木・佐野・佐野砂川校・吹田鳥飼校の各支援学校およびだいせん高等・堺の各聴覚支援学校の給食調理業務の民間委託経費

(2) 給食センター委託事業費
4174万0千円(3869万7千円)

*八尾支援学校東校、交野支援学校四條畷校の給食センター委託費など

(3) 支援学校給食設備整備事業
2500万0千円(新規)

*真空冷却機の設置と改修のための基本・実施設計費10校分

7. その他の主なもの

(1) 知的障がいのある生徒の教育環境整備事業(自立支援校9校)

①学習サポーター謝礼など
1467万3千円(1318万9千円)

②非常勤講師報酬費
1130万0千円(1130万0千円)

*自立支援推進校9校(園芸・柴島・阿武野・西成・松原・枚方なぎさ・八尾翠翔・堺東・貝塚)に1校あたり週12時間

(2) 校長マネジメント推進事業
2億3350万0千円

(1億1626万6千円)

*府立学校教育支援事業が知事重点事業として位置づけられ、予算増額。学校経営計画を実現するため、校長・准校長の裁量により活用できる予算。

①校長マネジメント経費
1億7350万0千円

*1校あたり100万円を上限に配当、分校設置校には1校あたり50万円を上限に加算。

②中期計画推進費
6000万0千円

*学校経営計画における中期目標の具体化に向けた基盤整備のため、課題に応じた大型備品の購入や施設設備の改修等の中規模的投資をおこなう。支援対象は府立

学校10~15校、1校あたり500万円を上限。